

フィンランド幼児教育セミナー  
福井県幼児教育リポート

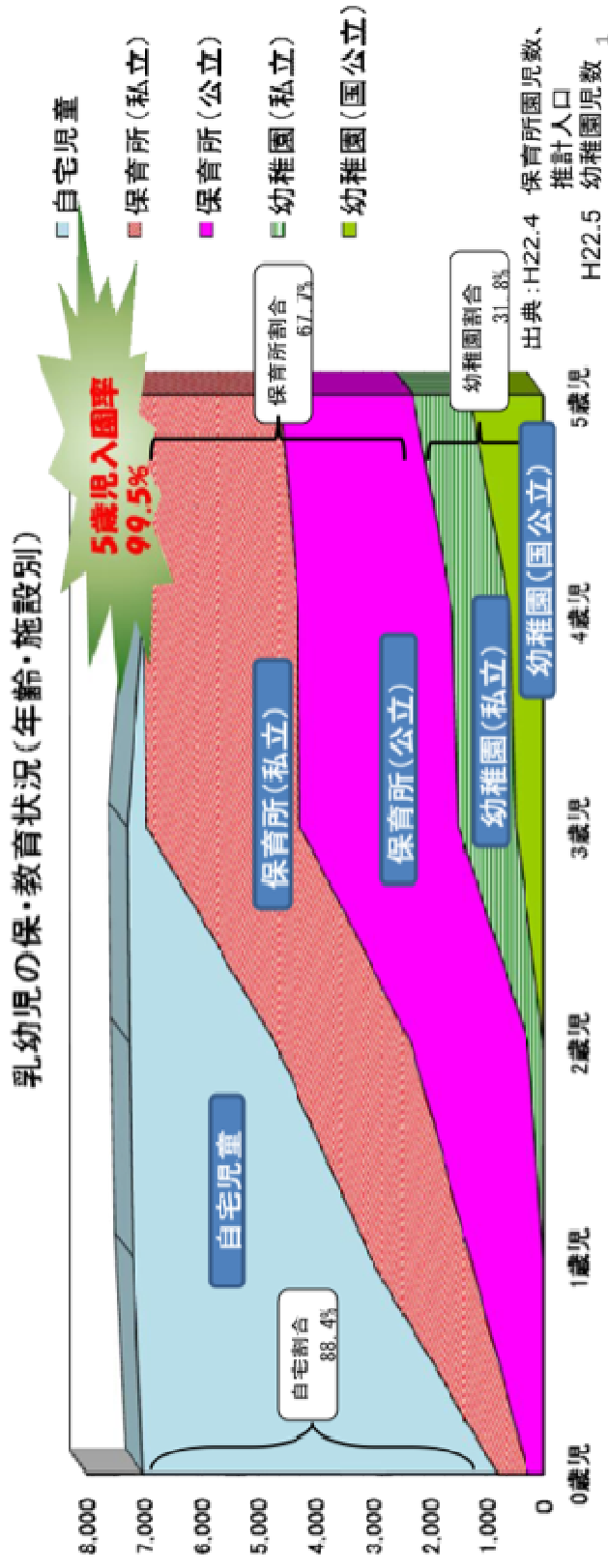
# 福井県の幼児教育の 現状と課題

福井大学大学院  
岸野麻衣

# 報告の概要

- 子どもの学びの芽生え
- 保護者の育ち
- 世代を越えた保育者の学び合い

# 本県における幼児教育の役割の大きさ

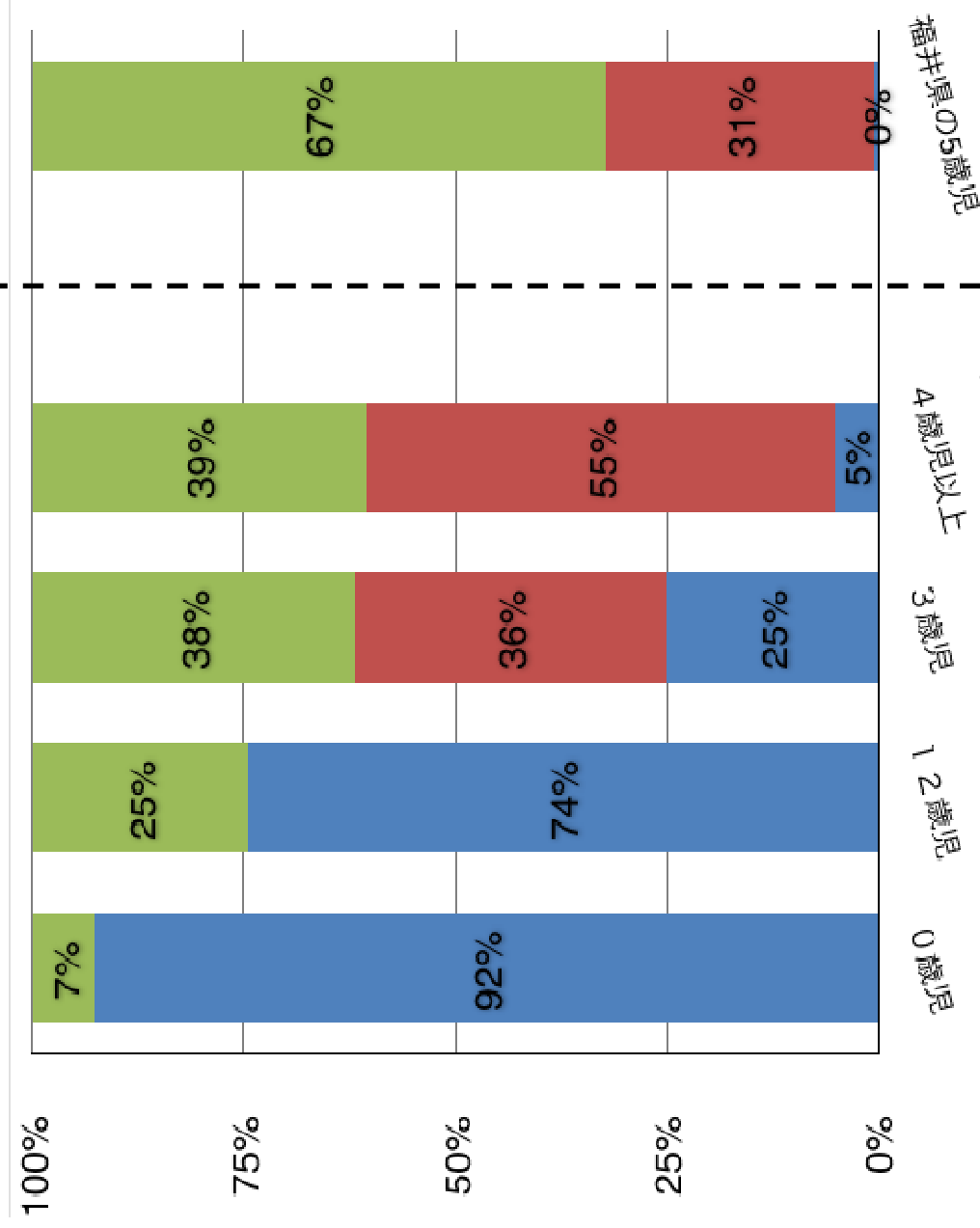


- 入園率の高さ
- そこで担うべき幼児期の学びと育ちとは？

# 就学前児童の昼間の居場所

就学前児童数平成17年度国勢調査平成17年度  
園児数学校基本調査平成18年度速報  
保育所利用児童数(福祉行政報告例)平成18年度

■ 保育所  
■ 幼稚園  
■ 家庭等



全国では 4・5歳児になると過半数が幼稚園に通園しているが、福井県では保育所通所率が高い。

養護の機能だけでなく  
教育の機能についても  
考えていく必要性

# 学びの芽生えを育む

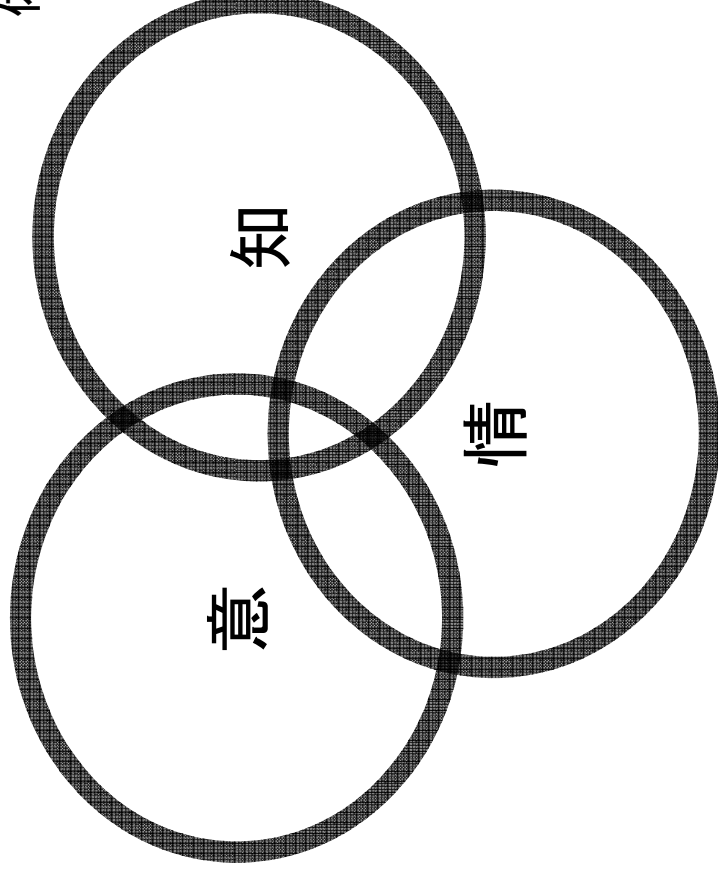
注意の集中と切り替え、  
気持ちの調整、試行錯誤

自己の育ち

協同的活動

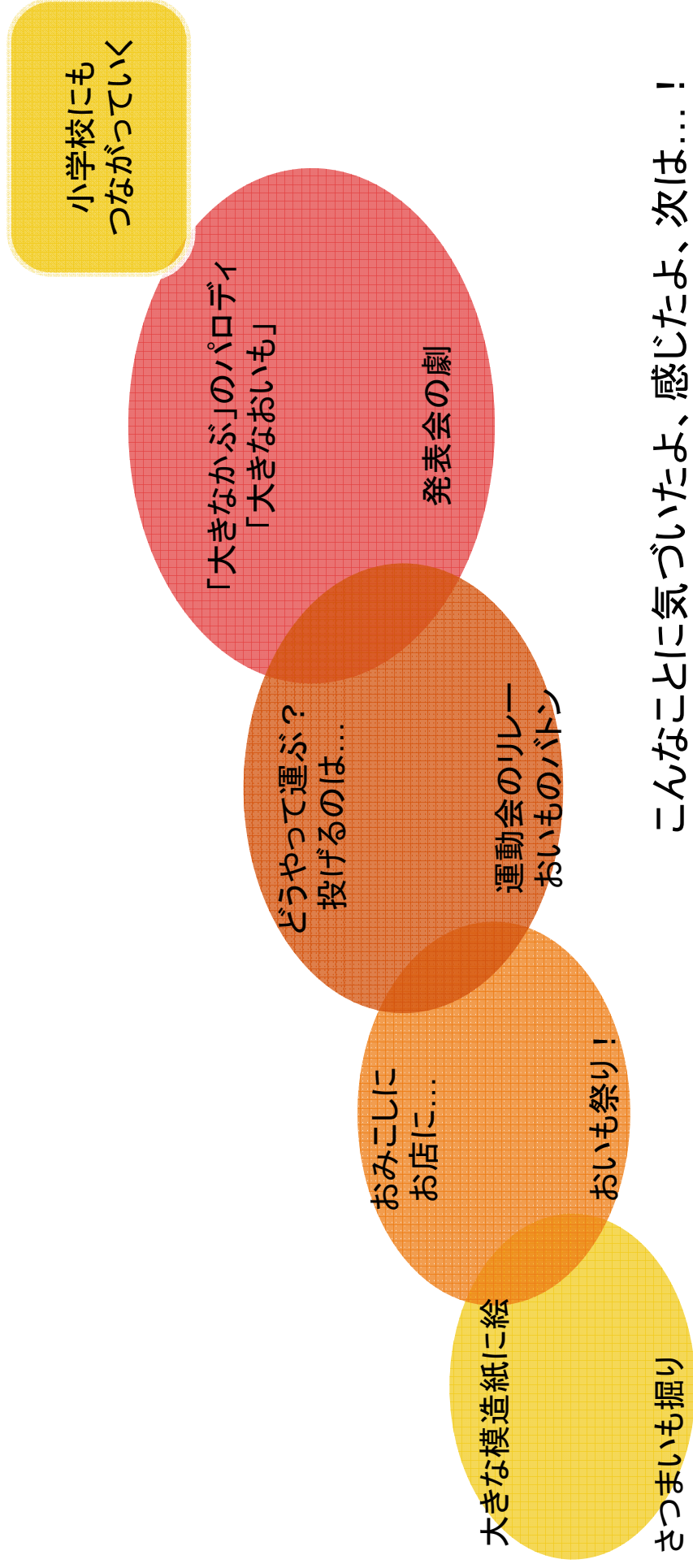
体験的・感覚的な気づき、  
言語化

学習の芽



心を動かされる、興味を持つ

# 協同的な活動の実践例

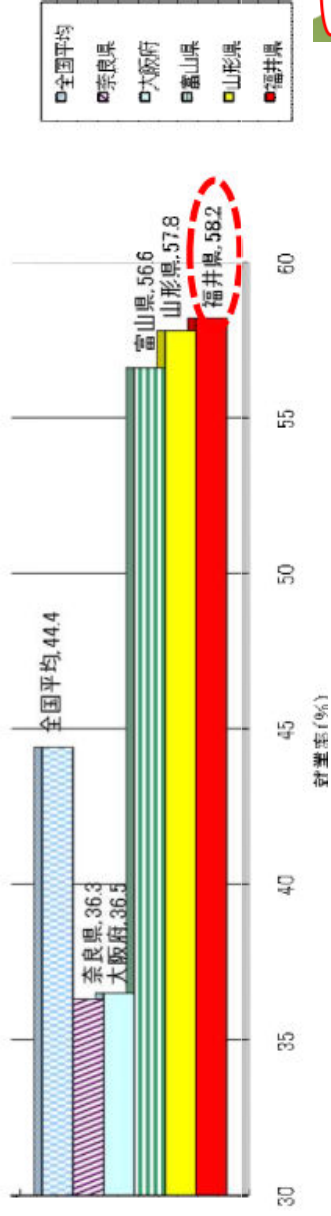


うまくいかない! ああでもない、こうでもない

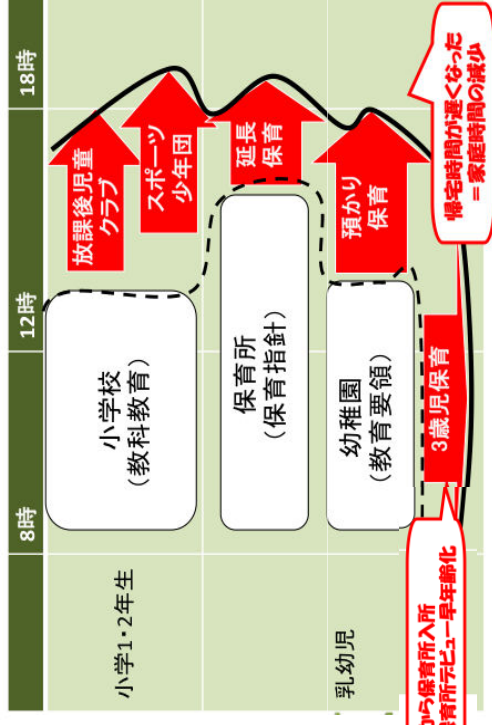
楽しかったなあ、こんなことやってみたいな

# 働く保護者たち

共働き率(女性の就業率) 出典H17国勢調査



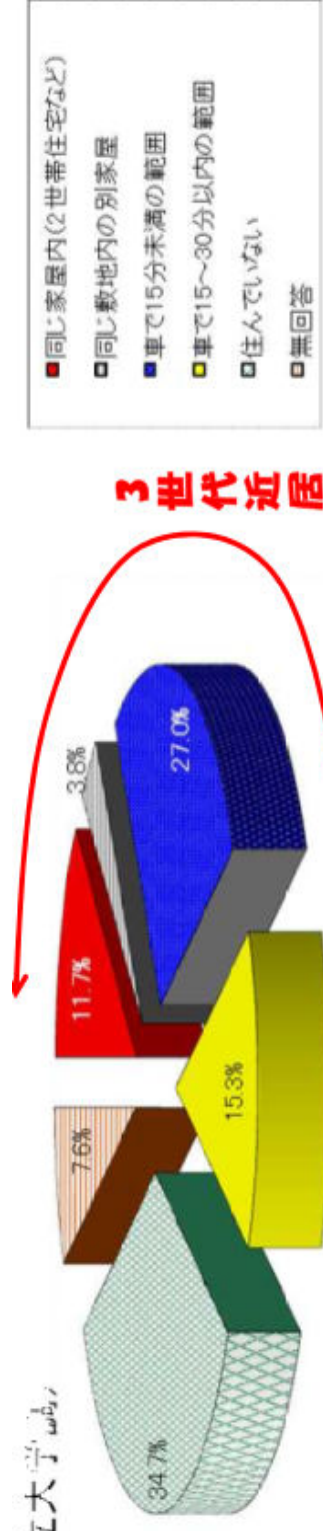
出典: H18家庭生活基本調査



- 学校教育の段階の中で一番保護者が園に関わりを持つ時期でもある。保護者の育ちを支えるチャンス。
- 子どもをみる目、子どもへの関わり方は、ほかの子どももや保護者、保育者から学び得る。

# 多世代のなかの保護者

3世代近居の状況（19県立大学）

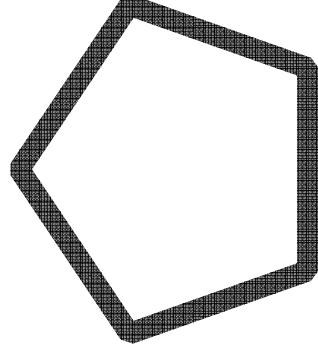


- 3世代近居により、子育てについての知恵を得られやすく、助けてもらえやすい環境。
- 一方で、複雑な人間関係や古くからの近隣のしがらみもつきもの？
- 祖父母も含めて、共に育つ必要性。



# 「育てる」ことと「育てられる」こと

社会の見え方



人間関係

喜び

仕事人として

自分の振る舞い

気づかせ、広げ、深めていく  
場と関わり

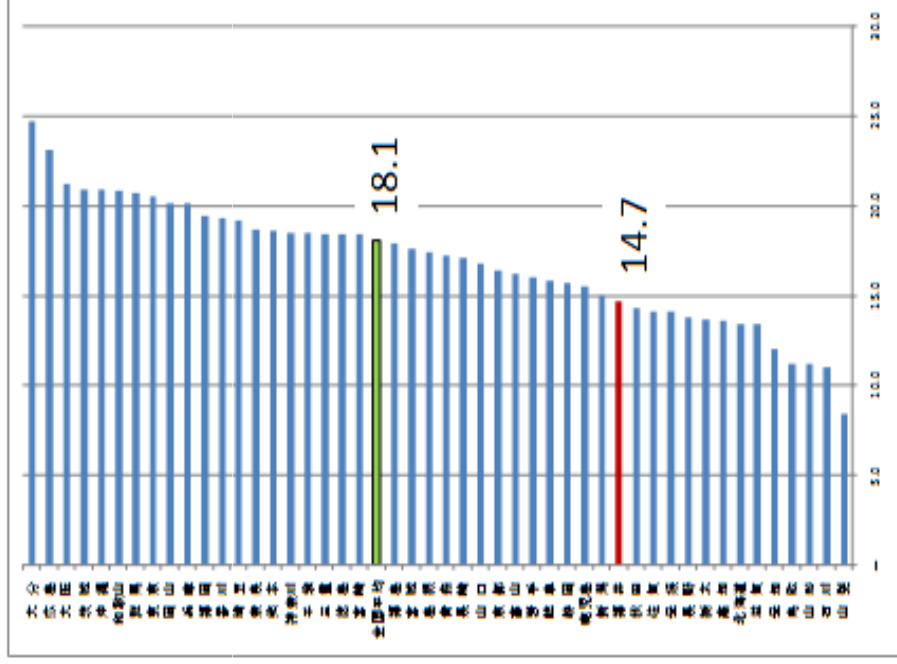
保護者だけでなく  
地域の人々も同様

# 幼稚園教諭の勤続年数

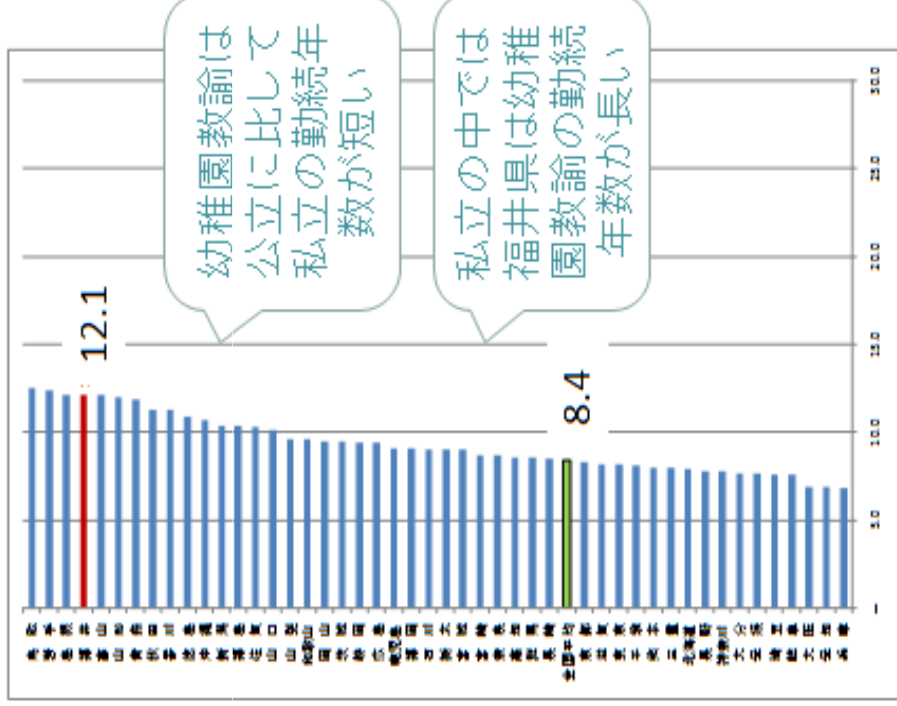
## 幼稚園教諭の平均勤続年数

(学校基本調査平成19年)

公立幼稚園



私立幼稚園



- 結婚・出産による退職
- 臨時やパートでの雇用

幼稚園教諭は公立に比して私立の勤続年数が短い

私立の中では福井県は幼稚園教諭の勤続年数が長い

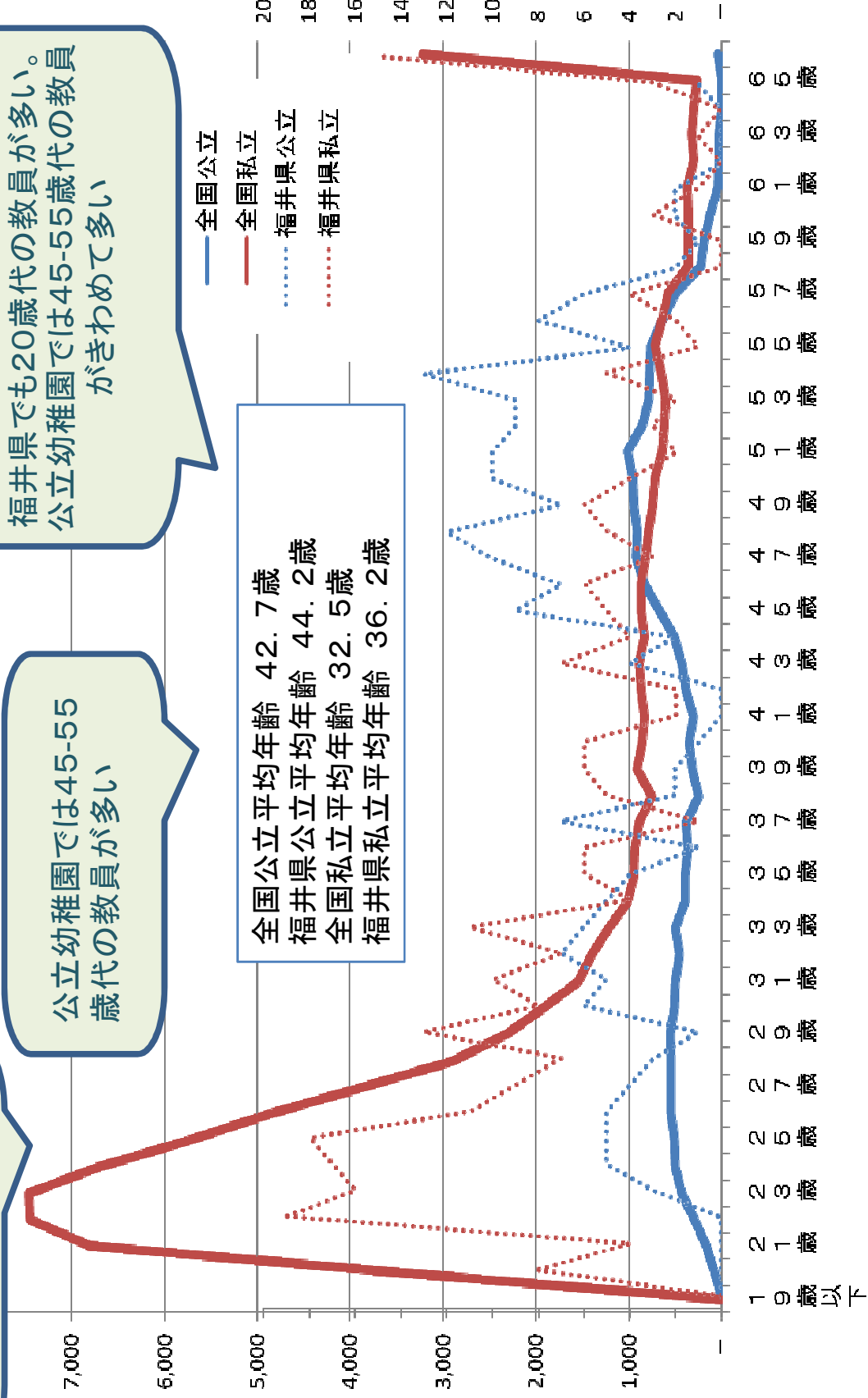
# 幼稚園教諭の年齢分布 (学校基本調査平成16年)

私立幼稚園では20歳代の教員がきわめて多い

福井県でも20歳代の教員が多い。公立幼稚園では45-55歳代の教員がきわめて多い

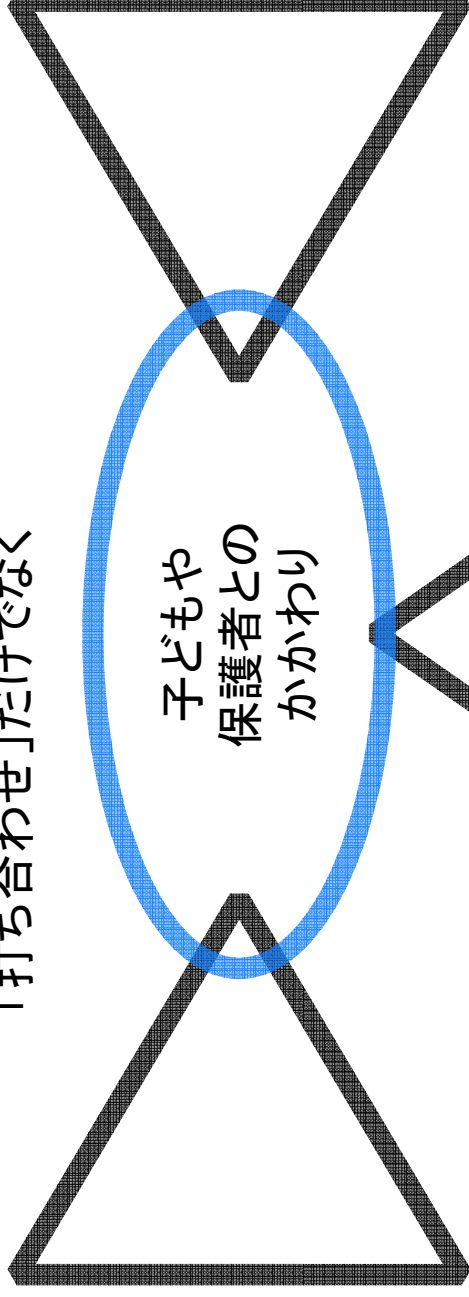
公立幼稚園では45-55歳代の教員が多い

全国公立平均年齢 42.7歳  
 福井県公立平均年齢 44.2歳  
 全国私立平均年齢 32.5歳  
 福井県私立平均年齢 36.2歳



# 世代を越えて学び合う

「打ち合わせ」だけでなく



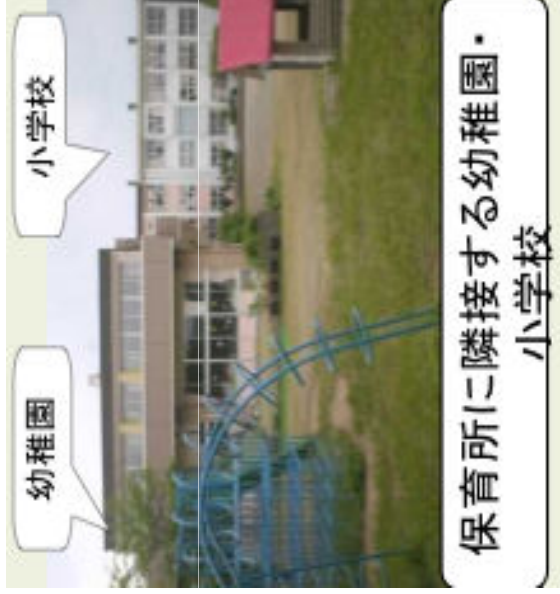
子どもや  
保護者との  
かわり

暗黙知を掴み直し  
刷新していく  
ベテラン保育者

ベテランの語りや  
振る舞いから  
学び取る若い保育者

外部の目

# 子どもたちを共に育む連携



- 互恵性
- 継続性
- 名前のわかる関係性

ご静聴ありがとうございました。

ご意見、お問い合わせは

[m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp](mailto:m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp) まで。